

SOA NEWS

VOL - 13 No. 7

1993. 11. 11

(通巻 第127号)

定期購読料 700円/年

埼玉県サイクリング協会 〒336 浦和市岸町 3-17-42 埼玉県青少年会館 TEL/FAX048-824-2711

< I C C ' 9 3 (ツール・ド・秩父) 盛大のうちに終了する >

第5回インターナショナルチャレンジサイクリング(ツール・ド・秩父)が10月16日～17日に開催された。16日は12時から受付・車検が始まったが、例年に比べ出足が鈍く、係員をやきもきさせることもあった。全体を通して整備不良車が多く、自転車に対して無関心な人がかなりいた。また終了間際の16時ごろになりあわてて駆けつける人もいて役員をあわてさせた。

16時から開会式・交歓会が始まったが、はじめのころは集まりが悪く、実技委員長の実走注意は大切であるのに、伝達事項が徹底されないことがあり、考えさせられる問題である。交歓会には協会会長浜田卓二郎氏婦人のまき子さんがお見えになったので、乾杯の音頭をとっていただき一層の華を添えた。交歓会も後半になるとMTBプレゼントへの期待からか、かなりの人が集まってきた。

17日は朝から小雨が降り、大会運営に不安を感じさせる開幕であった。8時から出走受付に続きスタートセレモニーが始まり、内田大会会長の挨拶に続き、渡邊実技委員長の走行上の注意が行われ、8時30分からリゾートコースが随時スタートを行った。スタート間際は小雨模様であったので十分距離をおいてスタートさせたが、9時頃になると天気もよくなり1,056名が無事スタートした。ファミリーコースは9時に長瀬方面にむけ110名がスタートした。10時からMTBコースのスタートが始まり3kmヒルクライムに40名が挑戦した。

リゾートコースのスタートが終わってほっとする間もなく10時19分にはリゾートコースの参加者が帰着し始めた。MTBコースとの交錯もあり役員はてんてこ舞の忙しさであった。12時からMTBコースの表彰があり、リゾートコースの者には表彰がないのかとの不満の声があったと聞くと、大会趣旨を誤解してるようで、MTBコースはあくまでも競技であり、リゾートコースはサイクリングであって、競技ではないことをはっきり認識してもらいたい。ファミリーコースは14時に全員帰着し、リゾートコースも14時04分には最終走者も到着し大会を終了した。今大会は昨年の教訓を生かしミューズパーク下りでの事故(再三注意したのだが)が1件で済んだことは今後の大会運営に明るさ(警察よりもし事故多発等の事態があったら、大会中止も有り得るとのきつい文書が届いていた)が見えてきたことは大きな収穫であった。

毎度のことではあるが、大会運営にあたりご協力いただいた、地元をはじめ自転車組合、サイクリング協会役員の皆さまに厚くお礼申し上げます大会報告としたい。

「クラブラリー思い出を残して終わる」

第15回 SCA クラブラリーは土合 CC が主管して、茨城県桂村で開催された。当日は台風の影響で朝から雨がふり、キャンプ予定地の那珂川河原が増水のため危険となり桂幼稚園内に場所を移して実施された(サイクルキング 実行委員会のご好意による)。クラブ員や家族の協力により、豚汁やバーベキューが手際よく準備され、6時半から会食が始まった。雨の中での会食もまた違った味わいがある。その後鈴木氏のご協力による抽選会が行われ全員に素晴らしいサイクルグッズがプレゼントされた。懇親会は夜遅くまで続いたが、雨の方は一向に弱まらず、明日のこともあので早めに床についた。

翌日は雨足が更に強くなり、朝早くから土合クラブの方は荷物移動や朝食場所へのテント張りとは忙しく動いていた。急造のテントで雨をしのぎながらの朝食もまた思い出深いものとなった。余りにも恵まれ過ぎている我々にはこれくらいの刺激もたまには必要である。

その後「サイクルキング」に参加する人は幼稚園に集合したが、生憎大会は中止となってしまったので、クラブラリーの方も流れ解散となった。主管した土合 CC の皆さまには大変お世話になりました。来年はグリーンパールの主管により新潟県六日町にて開催される予定です。

< 雨にたたられた SCA ラリー >

第35回埼玉県サイクルクラブラリー-<SCA ラリー>(第4回ほしのカップ)が9月23日(日)大宮第二公園を主会場として開催された。

当日は朝から雨模様の天気となり欠席者が目立った大会であった。受付後開会式が行われ、渡邊理事長の挨拶に続きゲーム内容等につき戸田リーダーから説明があった後、順次スタートした。雨の中での地図を見ながらの競技は、参加者のある程度の工夫が要求されることでもある。

今回は首都圏近郊で広大な緑が残る、見沼周辺をのんびり走るコースを設定したので、晴れていたから素晴らしいのだが生憎の雨のため参加者はポイントを見つけると早々と次のポイントに向けて走る

のがやっつのようなようであった。それでもグループの部に参加した白石ファミリー(子供8歳)や豊原ファミリー(子供11歳)には大いに敬服した。親子が一緒になって苦境に立ち向かうことは家庭教育の中で大切なことであると思う。

午後3時には閉会式が行われ次の方にほしのカップとメダルが授与された。

個人の部 (敬称略)

1位 鈴木 光則(土合 CC)

2位 小川 博(同)

3位 三ツ木和夫

グループの部

1位 白石ファミリー(土合 CC)

2位 平原ファミリー(個人)

< 第6回県民体育大会サイクルOL大会開催 >

県民総合体育大会の種目となっているサイクル OL 大会が来る11月14日(日)北荒川総合運動公園を主会場として開催される。サイクル OL は結構毎回参加の人が多く根強い愛好者がいるようである。

午前9時から受付が行われ、10時から一般の部が2分間隔、ジュニア・シニア・女子の部が4分間隔でスタートする。

昨年はシニアクラス、鈴木茂さんの5連覇の夢が日比谷氏によって阻止された大会であったが、今年はどのようなドラマが展開されるか楽しみな大会である。全国でもサイクル OL を行っているところは皆無に等しく、今後も協会のメイン行事として続けて行きたい。

参加者は秋の山野を地図片手にポイント求めて疾走するが規程時間内に無事到着することを祈っている。

なお、昨年の成績優秀者は下記の通りであった。

[92 サイクル OL 大会成績優秀者]

ジュニア部 (敬称略)

優勝 渡辺 祐司

一般の部

優勝 田口 安男(浦和 CC)

2位 橋本 秋男(個人)

3位 斎藤 信浩(個人)

シニアの部

- 優勝 日比谷達夫(しらこぼと CC)
- 2位 岡安 義則(個人)
- 3位 古畑 洋一(しらこぼと CC)

女子の部

- 優勝 岡田 雪
- 2位 渡辺美恵子
- 3位 佐藤 美紀



<年末懇親パーティ案内>

会員相互の親睦をはかり、年間の反省のもと新年の躍進を目指すことを目的としたSCA年末懇親パーティが下記の通り開催されます。会員の方々の参加をお待ちしています。

日時 平成5年12月4日(土)18:00～

場所 七蔵(浦和駅西口:048-824-0555)

*協会より徒歩5分

会費 4,000円

定員 30名

申込 11月30日(火)迄に事務局へ申し

込んで下さい(留守番電話へのメッセージでも結構です)。



<新春サイクリング案内>

毎年、年の走り始めとして新春サイクリングを企画しています。川口からスタートした七福神めぐりは秩父で終了する予定でしたが、距離的・時期的に今回は無理なので、秩父七福神はまたの機会に企画することにし、

今回から「協会サイクリングコースガイド」に載っているコースの中からポイントのコースを走ってみることにしました。見沼散策とヘルシロードを走ります。協会隣の調神社で安全を祈願し、首都圏のオアシ見沼を走り、宇宙科学館やJリーグ本拠地の駒場競技場を訪ねてみましょう。

日時 平成6年1月9日(日)9:30

集合 青少年会館駐車場

<ブロックラリー終わる>

第29回関東甲信越ブロックサイクリングラリー-山梨県大会が「さわやかな風 緑と水の都甲斐路を走ろう」をテーマとして、9月15、16日の両日、石和温泉を主会場として開催された。参加者380名は恵林寺コース(約35km)、昇仙峡コース(約45km)に分かれてサイクリングを楽しんだ。

その後午後4時から甲府勤労者福祉センターで開会式がおこなわれた。表彰式では10回参加で宮沢信芳氏、15回参加で渡邊廣次氏また高齢者表彰で黒川正二氏が表彰された。交歓会は石和観光ホテルで午後6時半から開かれ1年ぶりの再会に、友情の輪を広げた。

【会員だより】

自然公園大会に参加して

7月28日、わが国最大の加スト大地・山口県秋吉台国定公園で、皇太子ご夫妻をお迎えして第35回自然公園大会が開催された。本大会は環境庁が主唱している「自然に親しむ運動」の中心的行事として、毎年開催されている。

当日は台風5号による大雨にも関わらず会場には環境庁長官をはじめ3,500人が出席。自然公園関係功労者の表彰に続き、皇太子さまが「一人ひとりが自然をいつくしむ謙虚な心をはぐぐみ、自然との豊かなふ

れ合いを大切にしていけることは、地球全体の環境を守ることに繋がります。」とお言葉を述べられました。

式典終了後、地元の小学生によるマチングバンドの演奏や加太草炎千人太鼓が大会を盛り上げ、「自然に親しむ」の主旨のもとサイクリングをはじめリエンターリングや洞窟探検などの野外活動が実施された。東京・埼玉・千葉・島根それに地元山口県のサイクリストは、台風一過の上天気の中、加太大地のアップダウンを楽しみ秋吉洞のゴールに無事到着した。

近藤繁男記

< 関係団体案内 >

埼玉県レクリエーション大会

平成5年度埼玉県レクリエーション大会が11月28日、深谷市総合体育館をメイン会場として開催されます。午前中は総合開会式が、午後は各種のレクリエーション行事が展開されます。参加を希望する方は協会までご連絡下さい。大会プログラムをお送りします。

< インフォメーション >

海外ツーリングの案内

SCAではかねてから海外ツーリングをおこなうべく、準備を進めてまいりましたが、平成6年7月下旬にツール・ド・フランス観戦とスイスツーリングを企画することになりました。パリ2日間フリータイムの中にツール・ド・フランスのゴール観戦をいれ、その後スイスに渡り2日間のサイクリングを楽しむというコースです。今後検討しなければならないことが沢山ありますが、決まり次第広報します。会員の皆さまの積極的な参加をお待ちします。

リーダー検定の開催について

平成6年度から、新指導者制度が発足します。それにともない平成6年度は旧指導者の新制度の移行期間中につき、リーダー検

定は行えません。会員の方からここ数年行っていないので開催して欲しいとの声がありました。協会としても今年度の事業計画にはありませんが、会員の皆さまの参加が多ければ開催したいと考えております。期日としては2月19日-20日を考えておりますので、皆さまのご意見を事務局までお知らせ下さい。

第30回ブロックラリー日程決まる

第30回関東甲信越サイクリングラリーは東京協会の主管により下記の通り開催されることになった。

期日 1994年10月22日-23日

会場 江戸東京博物館

宿舎 日本青年館(神宮外苑隣)

《事務局だより》

事務局要員

11/28 中屋 怜(サイクリングコース)

1/30 川村雄豊(サイクリング一般)

2/27 戸田信治(")

()内は得意とする分野ですが、サイクリングに関することならどんなことでもご相談下さい。

センチリ-ン記録で集計ミスがありました。

センチリ-(160km)の部で1位に白井隆司氏が掲載されていましたが、チェック不通過により失格となり、順位がそれぞれ繰り上がります。あらためて訂正しお詫びします。

編集後記

久しぶりにSCAニュースを手がけたが(その間にブロックニュースの編集やツール・ド・秩父の企画等でいそがしかった)なにか拍子抜けしてしまった。ブロックニュースは年2回、SCAニュースはその合間を縫って5回程度発行できたよいなーと考えている。会員諸氏の投稿を期待している。